

整備事業評価書

(都道府県名: 山梨県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が事業 実施主体 へ改善指 導を必要と した地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	3	0	3	102.0	1	無	いずれの事業もほぼ目標を達成しており、事業の効果が認められる。	県平均は成果目標を達成した。 事業主体別の成果目標を達成できなかった地区については県による改善指導が必要
経営力の強化	0	0	0	-	-	-	/	-
食品流通の合理化	/	/	/	/	/	/	/	/

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(山梨県 平成22年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
				計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
笛吹市	笛吹農業協同組合	果樹(もも)	【果樹】全出荷量のうち内部品質に応じて出荷する割合	0%	-	97.7%	94.3%	80%	117.9%	全出荷量のうち、内部品質に応じた出荷割合が94%に増加し、目標が達成された。	集出荷施設増築 透過式光センサー選果機(2条一式3台)	687,710,100	327,253,000	0	37,580,000	322,877,100	H20.5.9	ももの内部品質に応じた出荷割合が増加し、目標を達成できた。	内部品質に応じた出荷割合が増加し、合理的な出荷体制が確立されている。
富士河口湖町	富士ヶ嶺自給飼料生産組合	牧草乳牛	【飼料増産】飼料作物作付面積を1%以上増加	51ha	51ha	54ha	58ha	59ha	88%	牧草の作付面積は7ha(13.7%)増加した。	収穫調整機械(細断型ロールペーラー)1台 フォールジワゴン1台	2,786,000 3,384,000	928,000 1,128,000	0 0	320,000 388,000	1,538,000 1,868,000	H19.9.21	飼料作付面積が増加し、生産性の向上が図られた。	H21年度の作付面積は目標に達しなかったものの生産性の向上が図られた。 なお、作付面積の拡大を継続した結果、H22年の作付面積は59haとなり、目標を達成している。
山梨市	山梨マディッククラブ	放牧(肉用牛)	【飼料増産】飼料自給率を1%以上増加	0%	33%	66%	70%	70%	100%	飼料自給率が70%に増加した。	簡易牧柵設備一式	248,471	122,000	0	0	126,471	H20.3.19	遊休農地等を有効に活用し、飼料自給率の向上が図られた。	有休農地等の有効活用と放牧面積の増加により、飼料自給率の向上と飼養管理の省力化が図られている。